

年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

•ESGの他の国際研究拠点、国連大学、フューチャー・アースや持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）との連携を強化した。

•xSDGコンソーシアムを通じて提供された機会として、良品計画との共同研究や楽天との共同研究、また、東京ガスとの共同研究、が挙げられる。これらの研究成果の発表等を通じて、持続可能な生産消費などの研究分野の研究推進につながった。

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

1. 蟹江憲史、パネリスト、「国際協調の役割とSDGsの新たな取り組み」、日経SDGsフォーラム、日本経済新聞社／日経BP主催、ライブ中継、2020年5月14日
2. 蟹江憲史、パネリスト、xSDGコンソーシアムオンラインシンポジウム「コロナとSDGsの今後」、慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ、2020年6月26日
3. 蟹江憲史著書、「SDGs（持続可能な開発目標）」、中公新書、ISBN978-4-12-102604-0、2020年8月21日
4. Panelist, International Symposium: Development Research Towards Achiving the SDGs in the Post COVID-19 Era, Organaizers: The University of Tokyo Institute for Future Initiative (IFI), Live streaming, 2020年11月10日
5. 蟹江憲史、「SDGsとポストコロナの社会」、『ポストコロナの社会と森林』、ライブ配信、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所主催、2020年11月27日
6. 蟹江憲史、「SDGsと2050年ネットゼロへ向けて-コロナの先の世界の常識-」、シティ・ESGカンファレンス、オンライン開催、2020年12月3日
7. 蟹江憲史、「ポストコロナのSDGs～世界の動向を中心に」、日本貿易会第96回市場委員会、日本貿易会、2020年12月16日
8. 蟹江憲史、「SDGsとその実現へ向けて」、愛知・東海市職員研修会、オンライン講演、2020年12月18日
9. 蟹江憲史、『経済の新しい潮流：最近よく目にする「SDGs」はこれまでの国際規約と何が違うか』、文藝春秋オピニオン、2021年の論点100、文春ムック、pp.122-123、文藝春秋（2021年1月1日）発行
10. 蟹江憲史、「コロナ禍におけるSDGsの動向」、『内閣府地方創生SDGs国際フォーラム2021』にて基調講演、オンライン講演、2021年1月14日
11. 東洋経済新聞ONLINE、インタビュー記事、『SDGs認知高い日本に「足りない」ものは？（前編） 国際政治の観点からSDGsを読み解く』、2020年5月24日
12. 東洋経済新聞ONLINE、インタビュー記事、『SDGs認知高い日本に「足りない」ものは？（後編） 「産官学のコラボ」で生まれる新しい価値』、2020年5月29日
13. ビジネスメディアAMP（アンプ）、インタビュー記事、『SDGs研究の第一人者、蟹江憲史教授に聞く「日本におけるSDGsの現在位置とポストコロナ」』、2020年5月29日
14. AERA、インタビュー記事、特別広告企画SDGs特集「SDGsの理念がポストコロナの道しるべになる」、通巻1817号、No. 41、2020年9月21日号、朝日新聞出版、pp. 1-3
15. 日刊工業新聞、取材記事、「事例創出へ産学連携」、朝刊5面、2020年9月25日
16. 蟹江憲史、「今だからそこSDGsを政策の柱に」、機関紙「自治体国際化フォーラム」、「コロナの時代にこそ地域はSDGsに取り組んでいく」、一般社団法人自治体国際化協会（CLAIR/クレア）発行、pp. 2-4、2020年9月25日
17. 「SDGsと商社ビジネスの親和性」、日本貿易会月報2020年12月号No. 793、『SDGsと商社』特集』、一般社団法人日本貿易会発行、pp. 8-15
18. MIT、特別インタビュー、『SDGsは未来への投資』、Vol.2/ Winter 2020、角川アスキー総合研究所、2020年12月10日、pp. 4-9
19. 蟹江憲史、トークセッション、「SDGsアクションで目指す「Vibrant INOCHI」未来社会～コロナ禍からん復興と行動～」、『JAPAN SDGs ACTION FESTIVAL』、ライブ中継、2021年3月26日